

4 カメムシ類による斑点米発生防止対策を徹底しましょう！

昨年は、カメムシ類による品質低下は少発生となりましたが、今年は暖冬等により発生が多くなっています。斑点米による品質低下を防ぐため、下記の対策を徹底しましょう。

(1) 畦畔・農道等の草刈りを徹底しましょう！

カメムシの生息地となる農道畦畔等の草刈りを徹底し、カメムシの生息数を減らしましょう。特に「穂」の出る雑草の穂を出させないようにこまめに草刈りを実施しましょう。

※草刈り重点推進期間：第2回 7月7日～7月16日

(2) 水田内の雑草防除も行いましょう！

水田内に生えている、ヒエ、ホタルイ、スズメノテッポウなど「穂」をつける雑草はカメムシの生息場所となります。除草剤等でとりこぼした水田内雑草は早めに除去しておきましょう。

(3) 早生品種等は、個人防除を徹底しましょう！

無人ヘリによる共同防除は、コシヒカリの出穂期に合わせた1回防除となっています。出穂期の早い早生品種では防除適期からずれてしまうため、個人防除での対応が必要です。個人防除で適期の散布を実施しましょう。

※防除適期

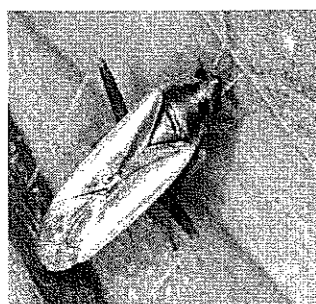
ア 粉剤の場合

1回目：出穂期3日頃～出穂期10日後 2回目：1日目の7日～10日後

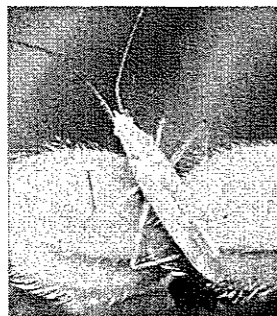
イ 粒剤の場合

出穂期～出穂7日後

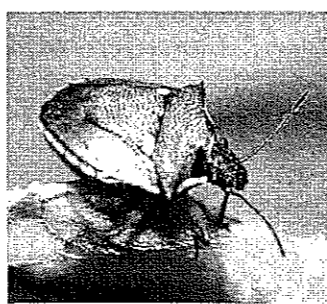
○阿賀野市で発生が多いカメムシ類



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



オオトゲシラホシカメムシ

5 いもち病の発生に注意！（本格的な梅雨時期を前に発生防止対策を万全に）

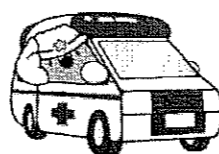
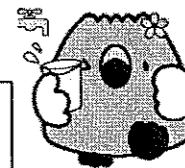
今年の梅雨は雨が多いと思われます。今後本格的な梅雨時期を迎えると葉いもちの発生が懸念されます。特にいもち病に弱い「わたぼうし」や「新之助」については、予防防除を徹底しましょう。

熱中症に気をつけましょう

農業従事者の中には熱中症の具体的な症状が分からず、知らず知らずに熱中症にかかっている方が多くいます。特に高齢者は脱水しやすいため、こまめな水分と塩分の補給、休憩を周囲の方が声かけを行う等、協力して熱中症を予防しましょう。

*熱中症が疑われる場合は…

- ①涼しい場所に避難する
- ②服を緩めて風通しをよくする
- ③水分・塩分を補給する



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」

意識がない、自力で水が飲めない場合は、すぐに病院で手当てを受けましょう！

*日常生活で心がけること

- ①暑くなる前に、熱中症に負けない体づくりをしておきましょう
 - ☞暑さに強くなる食べ物を積極的にとりましょう
(ビタミンB1を含む豚肉や卵、カリウムを含むほうれん草やバナナ、クエン酸を含む梅干しやパイナップルなどが効果的です。)
- ②暑くなってきたら、日々の体調管理に一段と気をつけるようにしましょう
 - ☞高血圧症・糖尿病等の持病や、睡眠不足・前日の飲酒・朝食の未摂取等は熱中症の発生に影響を与えます
 - ・朝食は作業前に欠かさず食べましょう
 - ・睡眠はしっかりとりましょう
 - ・持病がある場合や体調不良の時は、お酒はほどほどにしましょう
 - ・翌日の作業内容の変更などを検討しましょう



爆音機を使用する際のお願い

スズメ等による農作物被害防止のために、取り扱いの容易な爆音機を使用する場合がありますが、騒音に対する苦情が寄せられています。

鳥獣対策のための爆音機については、代替として防鳥テープ等の使用をお願いいたします。やむを得ず使用する場合には、近隣住民へ十分配慮し、以下の点に注意してください。

- ①使用する期間については、必要最小限とする。
- ②爆音機の設置場所を住宅から遠ざけて設置するなど音量を低減させる。
- ③早朝や日没を避けるなど鳴らす時間に配慮する。